病と闘う子どもと
家族のサポートハウス パンダハウス

ボランティア募集説明会

病と闘う子どもたちのために、私たちができること

パンダハウスとは

病と闘う・病とともに暮らす子どもと家族が
心やすらぐ「もう一つの我が家」になることを願って、
“ふつうの生活”を送ることのできるハウスです。

活動内容

滞在

入院中の子どもの家族が
宿泊したり、一時外泊では
家族一緒に過ごせます。

相談

お子さまの成長に応じ
長期的で切れ目のない
支援で一緒に見守ります。

交流

病気の経験をもつ子どもや
家族会の方が交流する場に
利用できます。

施設の概要

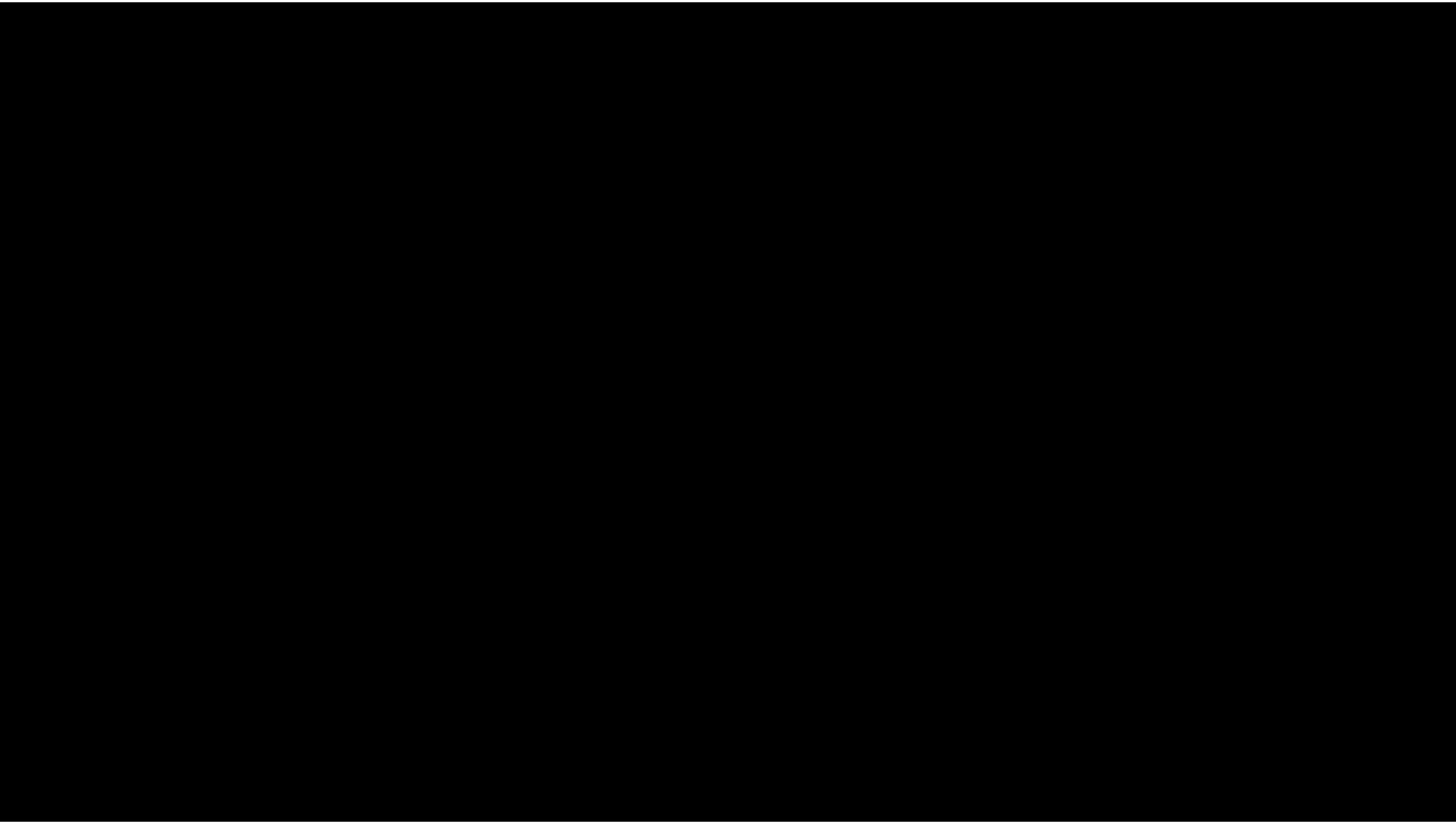
・運営団体
認定特定非営利活動法人（NPO）パンダハウスを育てる会
所在地：福島市蓬莱町８丁目１５番地１（医大から車で５分）
事務局：スタッフ4名

・施設の利用者
福島県立医大で治療を受けている方とそのご家族
病気をもつ子どもの会や家族会（きょうだい含む）の皆さま

・利用料
宿泊する場合　１室１泊　１,０００円
日帰りする場合　１室１日　５００円
リネン類のクリーニング代　1人あたり５００円

・開設から現在までの利用者数（H9.10.1～R3.9.30）
6,805 家族　　延べ人数 41,610人

パンダハウスのご紹介



ハウスの役割

～利用者さんの声から～

利用者さんの声

「自分の家のように生活できた」

２ヶ月ぶりに家族で過ごすことができました。
和室を利用させていただきましたが、家のような
とても落ち着く心地のよいお部屋でした。
「お風呂もどうぞお湯をためて入ってください。」
という言葉に、２日に１回短時間のシャワーだけで
過ごしてきたので、本当に嬉しい気持ちでした。
心も体も温かくなれました。
本当にお世話になりました。

利用者さんの声

「きょうだいも遊べました」

息子が医大病院へ緊急搬送となり、ICUへ入院、
緊急手術などで家族が身も心もボロボロになって
いたので、パンダハウスでの宿泊はとても助かりました。
お兄ちゃんに会えなくて悲しがっていた娘も,たくさんの
おもちゃで遊べてとても嬉しかったそうです。
設備が整っていて、きれいでとても快適に過ごせました。
今後もお世話になると思います。
また宜しくお願いします。

利用者さんの声

「きれいで、快適にすごせる」

息子と一緒にすごさせて頂きました。
とてもキレイに掃除されており、快適に
すごすことができました。
息子も、ぐっすりとねむれて良かったです。

すべて整っており、きれいで感激しました。
ボランティアの皆様の力はすばらしいですね。

利用者さんの声

「ハウスを支えるボランティアさんへの感謝」

パンダハウスを支えてくださる皆様、いつもお世話になっております。
施設内の細部にいたる心配りはもちろんのこと、花壇の毎月来るたびに咲いているお花にいつもいやされています。

手作りのパンダバッチ。
心がこもっていてとてもかわいかったです。
ありがとうございます。

パンダハウスの役割①

「お家がとおくても　家族にたくさん会える」

生活の場の提供　金銭的負担の軽減

「入院中　病院ではあえなくても　きょうだいと遊んだりできた。」

きょうだい支援

「ひさしぶりにパパとお風呂」

家族役割の再構築

「外出するとき いつもきびしいママだけど、
ここでは安心してあそべるよ。」

衛生的環境の提供

パンダハウスの役割②

「久しぶりにみんなでぐっすりねむれた」

「病院の食事は食べられないけれど、ママの作った料理なら食べられた」

患者・付き添いの家族を含めた体力回復と維持

「陽子線の治療もパンダハウスに泊まれるならがんばる！」

治療意欲の向上

「本物のかえるって　こんな色してるんだね」

「あけびってこんな木なんだ」

子供の成長発達に必要な日常体験の環境の提供

パンダハウスの役割③

「お気に入りの肌着を気管切開後も着れるものにリメイクしたい」

退院そして在宅への気持ちの整理と準備の場

「子どもの成長ビデオを一緒に見るだけ・・・・」

ピアカウンセリングの場

※専門家によるものではなく、当事者が同じような立場で
話を聴きあうこと

「ぜひ　このお米をハウスで使ってください」

利用者から支援者へ支援の輪の広がり

改めて、パンダハウスとは

病とたたかう子どもと家族のための
「病院近くのわが家」

闘病意欲を向上させるホスピタリティのある家

※ホスピタリティ＝思いやり、おもてなし、気配りなどの意

病気の時こそ「ふつうの生活」

ちょっと、ひといき

ボランティア活動紹介

長期継続ボランティア

・毎日のハウス清掃
・ハウス周辺のお手入れ
・パンダバッジづくり
・バザー準備、イベントサポート

毎日のハウスのお掃除

- 毎日１０時～１２時に実施
- 部屋の片づけ、リネン交換
- ハウス全体の掃除機がけ、モップがけ
- 水回りの清掃（キッチン・トイレ・お風呂・シャワー室）など
- おもちゃの整頓

ハウス周辺のお掃除・お手入れ

- 草むしり、花壇のお手入れ、落ち葉の掃除
- 窓ふき、ポーチやバルコニーの掃除
- 雪かきなど

パンダバッジづくり

- 利用者さんにお渡しするパンダバッジ
- 材料のカット、手縫い、パーツ付けなど
- 材料をお渡しし、自宅で作業していただいています

バザー準備、イベントサポート

- バザー準備

  商品のセレクト、値付け、ラッピング、手作り品の検針など
- イベントサポート

  チラシ等の準備、イベント広報のお手伝い

  当日の参加、荷物の搬入・搬出、会計

・募金箱の設置場所

単発ボランティア

種類	内容	時期	主な実施場所
チャリティバザー ※一部活動休止中	福島医大	8月、12月頃	バザー実施会場
	会津医療センター	5月、9月頃	
	いわきエブリア	3月、9月頃	
	たざわさん‘ず（福島市）	毎月第１日曜日	
各種イベント	リレーフォーライフ	９月頃	イベント実施会場
	ボランティア募集説明会 オンライン茶話会	奇数月	
	その他 （展示会、シンポジウム等）	不定期	
クリスマスプレゼント作り ※活動休止中	プレゼント企画・製作	7月～	パンダハウス等
	版画刷り	12月	パンダハウス等
クリスマスツリー設置片付け		11月、12月	パンダハウス
花壇の花植え		6月、11月	〃

チャリティバザー

・年８回程度実施。 ※現在一部休止中
　福島市、会津、いわき市ほか
・バザーの準備、販売の手伝い、
　荷物の搬入・搬出
・出品者さんのサポートなど

※バザーの売上や募金は、ハウスの運営費に充てられます

クリスマスプレゼントづくり

・７月～１２月にかけて月１回開催
・手作り品の制作（バッグ、クリスマスカードなど）
　生地の裁断、ミシンがけ、ラッピングなど
・１２月中旬、福島医大に入院しているお子さんへ
　プレゼントしています

クリスマスプレゼントの配布

クリスマスツリーの飾り付け、撤去

・１１月末頃にツリー設置と飾り付け、
・１２月末頃にツリーを撤去する。

クリスマス版画づくり

・１２月に１回実施
・その年に人気のキャラクター版画を制作
　色塗り、バレンがけ、ラッピングなど

花壇の花植え

・年に２回実施
・季節の花植え、肥料やり、雑草とりなど

ボランティアさんの声

「たくさんの人との出会い、楽しみながら１０年」

週１回のハウスのお掃除、バザー、パンダバッチの製作など

パンダハウスとの出会い

ボランティア　小野　千恵子

今日は、パンダハウスへ行く日。朝の家事をそそくさと終わらせ10時までパンダハウスへ。それは毎週水曜日の一日です。

仕事を辞めて1、2年は、家事と趣味をしながら暮らしていましたが、何かものたりなさを感じていた頃、パンダハウスを知りました。以前から素敵な家だなーと思っていましたが、何の家か、何をしているのかわかりませんでした。ボランティアを必要としているとの事。お伺いして私も少しはお手伝いできるかなと思い、参加することにしました。

私のボランティアはバザー、クリスマスプレゼント作り、週1回の掃除です。患者さんのご家族が利用した後のお部屋の掃除、次の方が気持ちよく利用できる様に心掛けています。

私達ボランティアは、あまり利用者さんとは直接お会いしませんが、少しでもホッとしていやされていただければと思っています。

クリスマスプレゼント作成やバザーは、自分のできる事、時間がある時は参加しています。その時は他のボランティアの方々とお会いできるので、とても楽しみです。

パンダハウスはボランティアと寄附で運営されている事を知った時は驚きました。又、パンダハウスをここまで育ててきた理事さん達には頭がさがります。

たくさんの人と出会い、楽しみながら私は、10年続けてきて、体が動くうちは、参加させてください。

玄関を開けると小野さんが生けてくれているステキな花でおでむかえ

ボランティアさんの声

「夫婦で参加、元気にボランティアができる幸せ」

週１回のハウス掃除、花植え、バザー、クリスマスプレゼントづくりなど

誰にでもできるボランティア

ボランティア　加藤 博、好子

人は、健康で日常生活を過ごすのが当たり前に感じられる、私達夫婦も平凡に電車のレールのように平行で何の変化もなく健康な日々を過ごしております。

私達夫婦がパンダハウスとの出会いは知人が県立医大附属病院に入院し、お見舞いに行った時、看護詰所の窓口のパンダハウスのパンフレットを見てから関心をもちました。

その後、パンダハウスのボランティア説明会に参加させて頂き、参加者は若人が多く、私達、高齢者にもボランティアが出来るのか考えながら帰宅しました。

再び、知人をお見舞いに行った帰り、パンダハウスが医大の近くにあるので訪れ、スタッフから、施設の内容やボランティア活動の説明を受け、パンダハウスを利用することにより、闘病中の方やご家族が精神的な負担から解放され癒されることを知り、私達夫婦は賛助会員になり、週に一度のボランティア活動を行うことにしました。

お部屋の掃除、子ども達が遊ぶ玩具の整理、絵本の整理、雑草防除、花壇の手入れ、クリスマスのプレゼント作り、ゴム版画によるクリスマスカード作り等、ボランティアの仲間と楽しくお手伝いをしております。又、年数回のバザーのお手伝いなど、私達高齢者でも気軽な気持ちでお手伝い出来ることを実感しております。

私達は、健康が「あたりまえ」と思って日常生活をしておりましたが、家族と離ればなれになり難病と闘っている家族の声を耳にした時、私達高齢者も雑草のように強くパンダハウスで元気にボランティアできる有り難さを幸せと思いました。

又、ボランティアの仲間に入れていただき沢山の方々との出会いを大切にしながら、今後も利用者さんが我が家と同じ家庭環境で利用されることを念じながら、スタッフの方々のご指導を頂き、カスミ草のように小さく誰にでも出来るボランティアを仲間と交流しながら楽しく継続したいと思います。

病と闘う子どもやご家族のために
皆様のお力をお貸しください

安心

支えあう

安価

見守る

くつろぐ

ボランティアの参加方法

ボランティアは通年募集しております

ご都合のよいタイミングで、ご参加ください。

本日はご参加いただきありがとうございました。

よろしければ、アンケートにご協力ください。

認定特定非営利活動法人パンダハウスを育てる会
〒960-8157　福島市蓬莱町8丁目15-1
TEL/FAX：024-548-3711
E-Mail：office@pandahouse.org
http://pandahouse.org